

昭和41年  
1月1日  
85号

発行所 会 員 正 治  
三 隔 町 報 委 員 元  
隔 町 報 委 員 元  
隔 町 報 委 員 元  
隔 町 報 委 員 元

人口のうごき  
10月1日現在  
世帯数 1,742戸  
人口 男 3,826人  
女 4,154  
計 7,980



広報

健民運動の合ことば  
げんきに  
きれいに  
しんせつに

御題「声」恭賦  
花は花冠をばたつ  
她より生ず  
ずいとん ようえ  
五雲明かなり  
群陰散じ尽す三元の曉  
先ずそらす天鷄第一の声



謹んで新春を寿ぎ町民皆様の幸福と町勢の伸展を祈念し

職員と共に本務邁進を表明します

### 三 隔 町 長 稲 田 正 治

残されたものは大竹川、辻並川の砂防工事としての改修浅田川上中流の準用河川編入に依る改修、県道で滝坂に向つての舗装、秋芳三隅線の改修等、今後の仕事に懸命に取り組んでいます。

であり、又四十一年度は、林業構造改善の指定地区となりましたので、林道は七割補助（一般は今迄三割補助）他の事業は五割補助で三年間に五千万円の仕事を出来る事になり今其の作業に取り組んでいます。昨年優秀農家を選んで七割補助の基幹作りに依る営農を奨励してまいりましたが、実に真剣に取組んで頂いて立派な一ヶ年の結果が出ましたので、今年も三隅の全農家か之等の何れかの類型を取入れて農業の近代化による収入増を図つてまいりたいものです。



の改善も観を始め各方面成績をあげられ、商工会も事務所が出来て、低利融資の活用による積極的な姿が見えて来ました。他面人造りの最重要問題も学校教育の力強い進展、家庭教育の徹底に依る健全青少年の育成等本当に有難い御努力を頂きまして私には心から感謝しています。本年も更に教育振興の実を挙げましょう。

性確立を目指し、造林の飛躍的拡大を計る一方、立木売却は県行造は別として年千五百万円以内に抑えているので之は本年も厳守する考です。町民住宅事情緩和の為町営住宅（耐火）十戸一四十二年度も十戸何とか実現したいと

計画していますので、四十一年度予算は中々大変だと思ひますが、町民の皆様の更に温かい御協力を念願致します。以上年頭に当り四十一年度町政の大要をのべて御挨拶と致します。

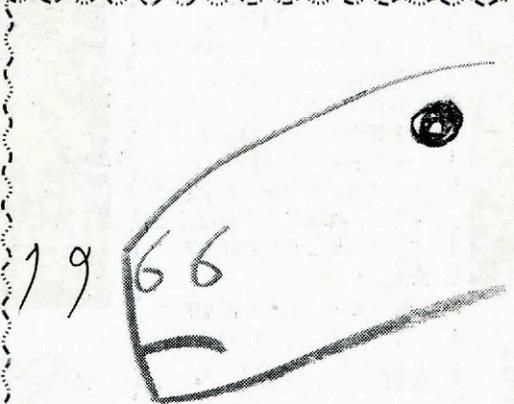
### 年頭随想 一年にちなんで

教育長 中野四郎

昭和四十一年の新春をことごとくおかげ様で馬令を加え心から町民各位の御多幸を祈ります。人には人柄、馬には馬の毛並みがある。ど馬にはど馬のよさがある。ど馬が駿馬や天馬のまねをしたらぶつ倒れる人のおの低所低平、高所高平の視点を立ち、今日好口、責任遂行の生活態度を立てる事がその人の幸福を生む源泉であらう。

馬のまねをしたらぶつ倒れる人のおの低所低平、高所高平の視点を立ち、今日好口、責任遂行の生活態度を立てる事がその人の幸福を生む源泉であらう。

馬のまねをしたらぶつ倒れる人のおの低所低平、高所高平の視点を立ち、今日好口、責任遂行の生活態度を立てる事がその人の幸福を生む源泉であらう。



香月画伯の賀状 年の始めにふさわしい、明るく、新しい、希望の年である。画伯の招待で、新年の第一回、研修してこられるとか、新しい絵が拝見出来るのが楽しみである

### はじめのことば

町議会議員 田中良作

新年おめでとうでございます。各御家庭の方が御健康で、より幸福な、佳き年でありませう。祈つて止みません。

から始まる四十一年度は、私共議会が執行部と共に町政を担う最終の年であり、この達成に格段の努力を致し度き覚悟でございます。私は多年議員として努めて参りましたが、其の間町勢は、健康で平和、そして満ち足りた幸福な家づくり、を達成して頂き度いことが私の変わらざる念願であります。次に四年は日韓交友条約及び関係国内法の成立を見ましたか、国会に於ける激しい紛糾は私共の胸を強く痛めるものがあり、国内経済界の不況

ベトナム問題を始めアジアに於ける諸紛争、アフリカ新興国の動向、相つづ自由陣営と共産圏との問題等、内外共に頗る重なる事柄が山積、本年に持ち越されてをります。就ては私微力ながら益々町長と協力し、県や全国町村議長会とも緊密な連繋のもと、各般にわたる尽力して参り度い所存でございます。ここに新年を迎えるに当り、心より御祝詞を申し上げますと共に、覚悟の一端を申し上げ、御挨拶と致します。

### 軍馬の碑

三隅八幡宮の遊園広場の一角に軍馬の碑が建てられていて、その良馬を乗せし、太平洋戦争中、町内に飼われていた馬は、人と共に徴用されて戦地に渡つて重要任務についた。人は戦死しても遺骨は無言のが旋をしたか軍馬は遂に生死不明、一頭も帰郷しなかつた。愛馬の労苦をしのび馬に謝し馬のいのちをたつとぶ心情が当時の町長白藤重氏をして「軍馬の碑」となつて現われたのである。馬にかかわる熱語は多い、馬場、馬前に死す、馬蹄、騎馬、伝令馬、早馬など、今は追憶の語である。「征馬すまず人語らず金州城外斜陽に立つ」は長州の生んだ乃木大将の感慨深い作詩であることは、朗吟愛好者は知っている。馬鹿（註、秦朝の家臣が皇帝に鹿を献じて馬と称したおろかさから馬鹿の語が生れた）と笑われぬ自己研修、社会を馬鹿にしてかかるから馬脚をあらわすし、馬耳東風では進歩はない、謙慮に聞き入ることが頭のほけぬ秘訣である。腹八分で止めればよいのに屢々牛飲馬食することは胃が早期発病の直線コースにつらなる。お互にど馬にむちうつて手を取り合ひ、午年の新春を健民運動、新生運動の積み上げに、一歩一歩ふみしめて進みたいものである。

### 馬にも意欲

馬にも意欲

馬を水辺にひくことはできない。然し水を飲ませることはできない。清流に引き入れても馬首を下げぬ。水を求めぬ馬には切角の生命の水も無価値の不用物である。求めよ、さらば与えられん。叩けよ、さらば門は開く。

### 馬にちなむ

馬にちなむ

「ひのえ牛」の迷信は現代では一笑に付せられてはいる。特に青年層の生活改善刷新運動の正道を拓いてほしい。馬鹿（註、秦朝の家臣が皇帝に鹿を献じて馬と称したおろかさから馬鹿の語が生れた）と笑われぬ自己研修、社会を馬鹿にしてかかるから馬脚をあらわすし、馬耳東風では進歩はない、謙慮に聞き入ることが頭のほけぬ秘訣である。腹八分で止めればよいのに屢々牛飲馬食することは胃が早期発病の直線コースにつらなる。お互にど馬にむちうつて手を取り合ひ、午年の新春を健民運動、新生運動の積み上げに、一歩一歩ふみしめて進みたいものである。

### 馬くらべと競馬

「馬の市」は本州では見られぬが往時より昭和の初期まで馬は生活必需品畜として武士（軍人）は軍馬として生産人は重要家畜としてよりよい馬を「馬の市」に求めた。そして武士は年中行事の馬くらべに臨んだ。「扇の的」の那須与一の馬、宇治川先陣を争つた二人の若武者佐々木高綱、梶原景時も名馬を用いた。妻の深慮によつて恒例の馬くらべの儀で主君の賞詞と信頼を受けた山内一豊の名馬はあまりに有名である。

### 馬にも意欲

馬を水辺にひくことはできない。然し水を飲ませることはできない。清流に引き入れても馬首を下げぬ。水を求めぬ馬には切角の生命の水も無価値の不用物である。求めよ、さらば与えられん。叩けよ、さらば門は開く。

### 馬にちなむ

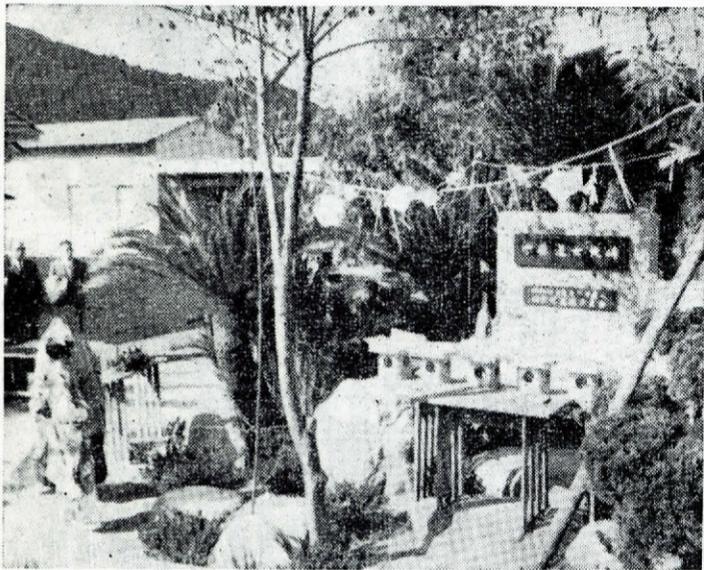
「ひのえ牛」の迷信は現代では一笑に付せられてはいる。特に青年層の生活改善刷新運動の正道を拓いてほしい。馬鹿（註、秦朝の家臣が皇帝に鹿を献じて馬と称したおろかさから馬鹿の語が生れた）と笑われぬ自己研修、社会を馬鹿にしてかかるから馬脚をあらわすし、馬耳東風では進歩はない、謙慮に聞き入ることが頭のほけぬ秘訣である。腹八分で止めればよいのに屢々牛飲馬食することは胃が早期発病の直線コースにつらなる。お互にど馬にむちうつて手を取り合ひ、午年の新春を健民運動、新生運動の積み上げに、一歩一歩ふみしめて進みたいものである。

施工期間 昭和29年度—40年度  
 総事業費約 455,000千円  
 流域面積 55,9K㎡  
 計画流量 680屯 | 秒

流路工施工延長 本流 9,500m  
 支川 1,800m  
 (二条窪、姫田、追分川)  
 砂防堰堤工事 4支川 4ヶ所 (二条窪、出光、追分、杉山川)



中原女史除幕式



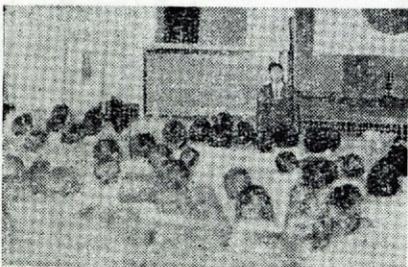
県道改修 (滝坂)



青少年健全育成会 (宗頭)



婦人講座 (9講座の1)



★名誉町民  
故中原女史碑決算

昨文化の日中原とま女史の顕彰碑除幕式が行われた建設費は町民1025名の寄付によつたのでその概要をのべます。

寄付金	368,442円
利息	482
建設費	258,484
庶務	3,910
碑石	125,000
工事	79,449
除幕式費	17,505
雑費(写真等)	13,100
各種謝礼	19,520
差引残額	110,440

残金は第二次計画遺徳集発行に使用。尚題字及び裏面碑文は大塚寺井原徹学老師です。

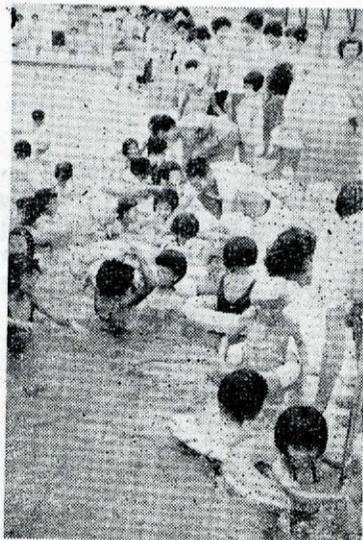
★県道路

舗装40年度 600万円延長  
 道路改良 全 3,500万円

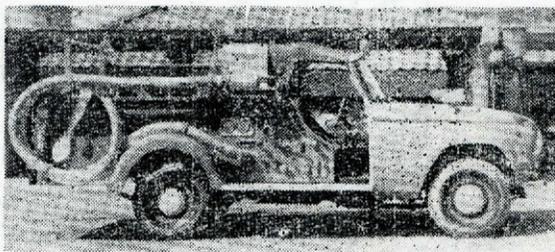
★野波瀬舟揚場

総事業費 1,692万円  
 面積 2,345平方米  
 延長 1,265米 巾 28-33  
 米全部コンクリート舗装

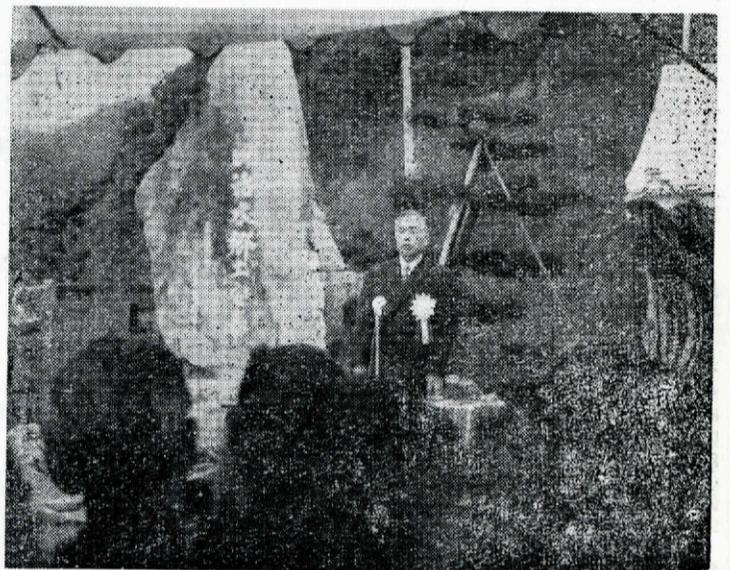
温泉プール



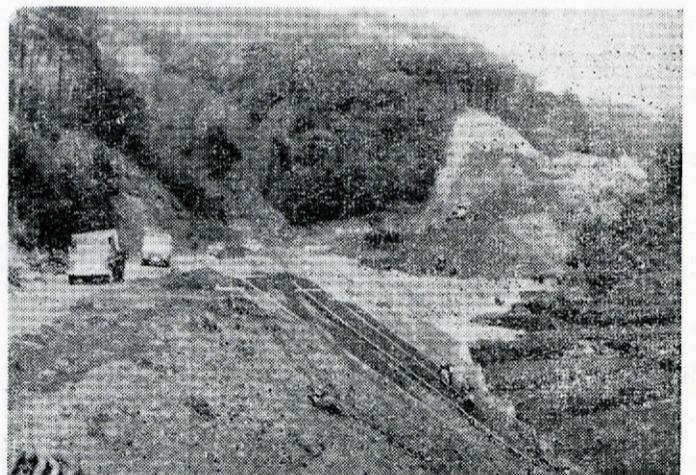
豊原に委託した町  
 消防ポンプ



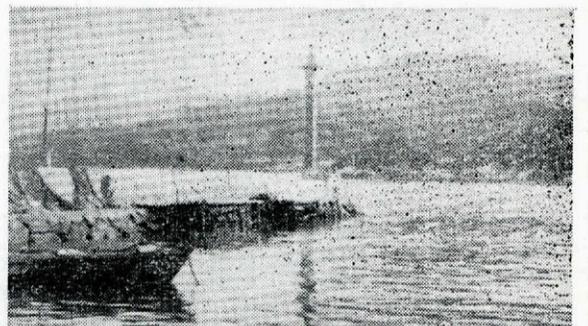
河川改修式 (挨拶するは周東英雄氏)



191 国道改修



野波瀬第一突堤燈台



県子供会交歓大会



重大工事の一年